

児童手当の制度が変わります～令和6年10月分の手当から～

変更点

- ① 支給対象年齢が18歳到達後の最初の年度末まで拡大
- ② 所得制限が撤廃
- ③ 第3子以降の支給月額が増額（右表のとおり）
- ④ 多子加算にかかる児童数の数え方が変更（22歳到達後の最初の年度末までの子が対象になります）
- ⑤ 支給月が年6回（偶数月）に変更

児童の年齢	支給月額		
	第1子	第2子	第3子以降
3歳未満	15,000円		30,000円
3歳から高校生年代	10,000円		

申請手続きについて

右のフローチャートで「手続きが必要」となる人は、電子申請か窓口（子育て応援課か西支所）で申請してください。

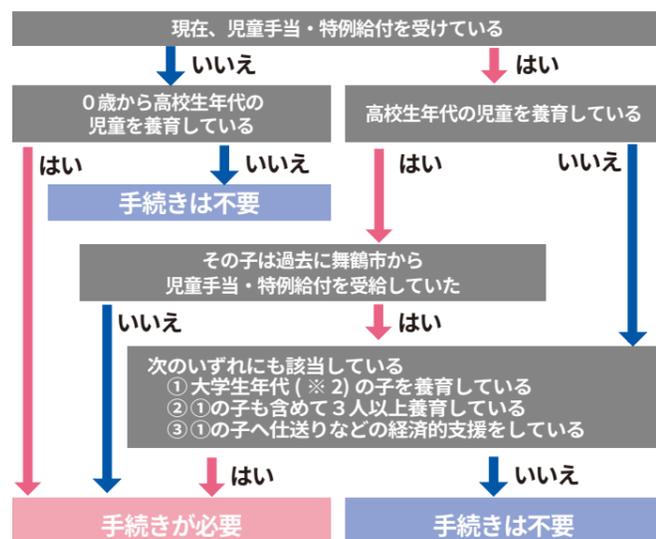
【申請期限】10月31日(木)

期限までに申請がない人は、12月支給分に反映されないにご注意ください（制度改正による申請の最終期限は、来年3月31日(月)）。

【その他】高校生年代（※1）の子の住民票が舞鶴市にある世帯と市からの児童手当を受給中の世帯には、9月上旬に案内通知などを送付します。高校生年代のみの世帯のうち、進学などにより子の住民票が舞鶴市にない世帯は送付がありませんので、右のフローチャートを確認し、必要な手続きを行ってください。制度改正や必要な手続きについて詳細は市ホームページで確認を。右コードからアクセス可。

【問い合わせ先】子育て応援課 ☎66・1094

【申請にかかるフローチャート】



（公務員は、職場での手続きとなります）

（※1）高校生年代…平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれ
（※2）大学生年代…平成14年4月2日～平成18年4月1日生まれ



思い描く図書館づくり

（第2回）

図書館基本計画における目指す図書館の姿と今後の取り組みについて

図書館基本計画では、本市が目指すべき図書館の姿について、次の3つの方針を掲げています。

- ◆高度な専門情報を蓄え地域社会・地域生活に役立つ「課題解決型図書館」へ変わること
- ◆あらゆる市民に対するサービスの展開を行うこと
- ◆舞鶴市内全域へのサービス網を構築すること



図書館ワークショップの様子

この方針に基づき、次の4つの取り組みを進めていきます。

- ◆中央図書館の整備（東西図書館を集約・統合し、企画・運営・管理力を強化）
- ◆分館機能の充実（既存の3分館（南・中・加佐）に加え、東と大浦地区に分館を整備）
- ◆自動車図書館の導入・運行（市内全域に図書館サービスを届けるため、アウトリーチサービスを拡充）
- ◆学校との連携（子どもの学びと豊かな読書環境を支える学校図書館を支援）

次号では、現在基本設計業務を進めている「中央図書館の整備」についてお伝えします。第1回目内容は市ホームページで確認を。右コードからアクセス可。

《図書館課》



9月1日は防災の日 台風・大雨に備えて 今一度、準備や対策の確認を

台風や秋雨前線の季節となり、その影響による大雨に注意が必要です。

近年の災害は、線状降水帯やゲリラ豪雨などによる局地的な大雨のため、河川があふれたり、土砂

災害が発生したりしています。事前にハザードマップで周辺の危険な場所を確認するとともに、避難場所や持ち出し品の確認など災害に備えましょう。
《危機管理・防災課》

避難のお知らせは警戒レベルで

避難のお知らせは、市から防災行政無線、防災アプリやメール配信サービスなどで行います。

レベル3＝高齢者等避難、レベル4＝避難指示、レベル5＝緊急安全確保です。最新の情報に注意を払い、発令時に危険な場所にいる人は避難行動をとってください（下図のとおり）。

なお、既に災害が発生していたり、大雨などにより避難場所までの移動がかえって危険な状況では、近隣の丈夫な建物などへ移動したり、自宅の2階以上の山側から離れた部屋などに移動するなど、身の安全を確保してください。

避難情報等（警戒レベル）			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~（警戒レベル4までに必ず避難！）~~~~~			
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

### 情報の入手方法

次のツールから避難情報が入手できます。まだ登録されていない人はこの機会に登録しましょう。

- ◆市ホームページ
- ◆防災アプリ
- ◆まいづるメール配信サービス
- ◆市公式ライン
- ◆防災行政無線
- ◆緊急速報メール
- ◆テレビのdボタン
- ◆ラジオ
- ◆舞鶴市総合モニタリング情報配信システム など



◆防災アプリ



◆モニタリングシステム



◆メール配信サービス



◆洪水ハザードマップ



◆市公式ライン



◆土砂災害ハザードマップ

## パリオリンピックに井上愛里沙選手が出場

7月26日から8月11日まで開催された第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）バレーボール競技で、舞鶴市出身の井上愛里沙選手（西舞鶴高校卒業、ヴィクトリーナ姫路所属）が日本代表選手として出場。16年振りの舞鶴市出身のオリンピックを応援するため、予選リーグ3試合全てのパブリックビューイングを

実施しました。結果は、惜しくも予選敗退となりましたが、各回100人を超える多くの市民の皆さんが応援に駆け付け、井上選手が活躍するたびに大歓声上がるなど大変盛り上がりました。

井上選手からコメントをいただきましたのでご紹介します。  
《スポーツ振興課》



パブリックビューイングで応援する様子

応援していただいた皆さまへ

今回のオリンピック出場に際し、パブリックビューイングの実施や懸垂幕の掲示など、いろいろとご支援いただきありがとうございました。

試合当日はパブリックビューイング会場にも多くの方が訪れ、応援していただいたと聞いており、大変うれしく思っています。

今回の貴重な経験を今後の人生に生かし、さらに成長できるよう頑張っていきたいと思っております。応援ありがとうございました。

井上 愛里沙